

建物が被害を受けた際の写真撮影の方法について

被害状況を写真で記録してください

片付けや修理の前に、建物の被害状況を写真に撮ってください。

保険金の請求以外にも市区町村から罹災証明書を取得して支援を受ける際などに役に立ちます。

ポイントは、建物の外と中の写真を撮ることです。

建物の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮るようにしてください。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮ってください。
※ メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。

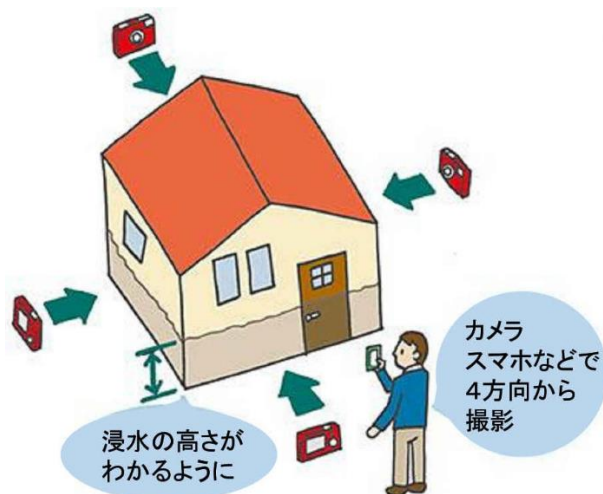
建物の中の写真の撮り方

- 建物の中の被害状況写真は、
 - ① 被災した部屋ごとの全景写真
 - ② 被害箇所の「寄り」の写真を撮影してください。

<想定される撮影箇所>

内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバスなど

<イメージ図>



★ 被害を受けた部屋・箇所は全て撮影してください。

